

第2回 横浜市都田地域ケアプラザ及び横浜市都田地区センター

指定管理者選定委員会 議事録

日 時	令和8年3月24日(火) 午後1時から4時まで
開 催 場 所	都筑区役所6階大会議室
出 席 者	<p>【選定委員会委員】</p> <p>委員長 山本 博之 (田園調布学園大学社会福祉学科 社会福祉専攻教授)</p> <p>委員 大野 和子 (都筑区保健活動推進委員会会長)</p> <p>木村 博子 (都筑区主任児童委員連絡会代表)</p> <p>齋藤 隆夫 (都田地区民生委員児童委員協議会会長)</p> <p>志田 政明 (都筑区青少年指導員連絡協議会会長)</p> <p>竹迫 和代 (参画はぐくみ工房代表)</p> <p>馬場 絢 (一般社団法人神奈川県中小企業診断協会 中小企業診断士)</p> <p>堀内 哲也 (つづき地域活動ホームくさぶえ 統括施設長)</p> <p>村田 輝雄 (都田連合町内会会長)</p> <p>【事務局】</p> <p>都筑区福祉保健センター長 中山 昭</p> <p>都筑区福祉保健センター担当部長 米澤 陽子</p> <p>都筑区福祉保健課長 清 亜希子</p> <p>都筑区地域振興課長 須藤 健一 他6名</p>
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部非公開 (応募団体の面接審査、指定管理者の候補者 (以下「指定候補者」という。) 及び指定候補者を指定管理者として指定できない場合に指定候補者に代わって指定候補者となる者 (以下「次点候補者」という。) の選定に関する審議について非公開。なお、応募団体の面接及び質疑応答は、面接審査を受けている団体以外の応募団体を除き公開。) (傍聴者2人)
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 事前確認事項 2 応募団体の面接審査 <ol style="list-style-type: none"> (1) プレゼンテーション、質疑応答 (2) 本市重要施策を踏まえた応募団体の取組状況、財務状況評価の説明 3 前期実績の審査 4 指定候補者及び次点候補者の選定、講評
決 定 事 項	<p>指定候補者及び次点候補者として、次のとおり、横浜市都筑区長に報告することとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 横浜市都田地域ケアプラザ及び横浜市都田地区センターの指定候補者及び次点候補者 <p style="margin-left: 2em;">指定候補者：社会福祉法人秀峰会</p>

	<p>次点候補者：エフィラグループ株式会社</p>
議 事	<p>1 事前確認事項</p> <p>事務局から、公募の結果、2団体から応募書類の提出があった旨を報告するとともに、次の3点について確認した。</p> <p>(1) 委員会の公開・非公開</p> <p>応募団体の面接審査、指定候補者及び次点候補者の選定に関する審議について非公開とすることを確認。(第1回選定委員会で審議済み)</p> <p>※なお、応募団体の面接(プレゼンテーション及び質疑応答)は、面接審査を受けている団体以外の応募団体を除き公開。</p> <p>(2) 面接審査の進め方等について</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接審査全体の流れや質疑応答、最終審査の流れについて説明。 ・同点1位の団体が複数発生した場合の取り扱いについて、次の順で指定候補者を選定する旨の事務局案について合意。 <ul style="list-style-type: none"> ①評価点で1位をつけた委員が多かった団体 ②小項目で最低点を入れた委員が少なかった団体 ③小項目で満点が多かった団体 ④委員長を含む出席委員による投票 ⑤委員長を除く出席委員による投票 ・全ての応募団体が最低制限基準に満たない場合は、再選定を行う旨を再確認した。 <p>(3) 応募団体の資格要件等について</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募資格要件を満たすこと、欠格事項に該当しないことを報告。 ・欠格事項のうち、「暴力団又は暴力団経営支配法人等ではないこと」に関して、神奈川県警に照会した結果、該当しないとの回答を受けた旨や、市税納付状況等の確認を行った結果、資格要件を満たしている旨を報告。 <p>2 応募団体の面接審査</p> <p>(1) 社会福祉法人秀峰会</p> <p>ア プレゼンテーション</p> <p>団体から、団体の概要、事業計画等について説明。</p> <p>イ 主な質疑応答</p>

	<p>(委員) 指定管理料の提案額に本部経費を計上していない理由を伺いたい。</p> <p>(団体) 本部機能は、法人本部に集約されているため、提案額には含めていない。</p> <p>(委員) 都田地区は、高齢化の進行や交通アクセスの制約など、地域特性に応じた課題がある地区だと思うが、あえてこの地区の施設に応募した理由は何か。</p> <p>(団体) 都筑区における地域福祉保健活動に関心があり、活動を広げたいと考えた。地区センターと地域ケアプラザの機能を併せ持つ複合施設として、役割を十分に発揮できる可能性があるかと判断した。</p> <p>(委員) 交通面の課題や、施設に来館しにくい方への対応についてどのような対策を考えているか。</p> <p>(団体) 施設から離れた仲町台周辺に相談ニーズが多いと感じている。来館が難しい方にも同じように情報提供できるよう、職員による出張講座などアウトリーチの取組を行っていく。</p> <p>(委員) 子どもの居場所としての役割が地区センターにも求められている。小学校との連携、不登校や中高生の居場所づくりの観点を含めて考えをお聞きしたい。</p> <p>(団体) 立地の関係から恒常的な居場所とするのは難しい面もあるが、イベントへの親子参加などを通じて居場所として提供したい。不登校については、学校等と連携しながら検討する。</p> <p>(委員) 地域ボランティアバスとの協働や、交通アクセス改善、送迎についての考えはどうか。</p> <p>(団体) アクセスの課題は認識している。送迎については安全面などの課題があるが、効率的で来館しやすい方法を検討しながら、今後の対応を考えていく。</p> <p>(委員) 高齢者や障害者に限らず、多様性に配慮した柔軟な対応をお願いしたい。今後はアウトリーチの取組がより重要になると感じている。</p> <p style="text-align: center;">(応募団体退席)</p> <p>ウ 本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況、財務状況評価の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況について説明 ・馬場委員より財務分析結果報告書について説明。 <p>エ 委員ごとに採点</p> <p>(2) エフィラグループ株式会社</p>
--	--

ア プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明。

イ 主な質疑応答

(委員) 本部経費の計上について、考え方を教えてほしい。

(団体) 本部にかかる人件費・システムの維持管理費を計上している。

(委員) 外国人への対応について、どのように考えているか。

(団体) 「誰一人取り残さない」方針のもと対応していく。スタッフの研修や、ICT等の活用を通じて、柔軟に対応していく。複数事業を展開しており、社内に通訳スタッフもいるため、社内連携を図りながら対応していく。

(委員) 地域ケアプラザは高齢福祉のイメージが強いが、子ども、子育て、障害児者に関しても取り組むこととなる。地域活動交流部門について、アピールすることがあれば教えてほしい。

(団体) 子どもや障害児者分野では、保育園や放課後等デイサービス等、多数の事業を運営しているので、社内の横のつながりを生かして取組を進める。地域活動交流については、地区センターの複合施設であることを活かし、「地区センターで面白いことをやっているから行ってみよう」と足を運んでいただけるような仕組みを考える。

(委員) 業界全体で人材確保が難しい状況の中で、欠員・充足状況、工夫している点を教えてほしい。

(団体) 人員確保について苦労はしているが、社内の横の展開を活かしたプロジェクトがあり、様々な角度から採用活動を工夫していて、深刻な欠員状況ではない。幅広い分野に精通した人材育成を行っていることも強みである。

(委員) 地理的な課題がある中、地区センターとして人が集まる仕組みをどのように考えているか。

(団体) 子どもをはじめ、細かくターゲットを分けて楽しい自主事業を展開するとともに、広報活動にも力を入れていきたい。

(応募団体退席)

ウ 本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況、財務状況評価の説明

- ・事務局より本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況について説明
- ・馬場委員より財務分析結果報告書について説明。

エ 委員ごとに採点

3 前期実績の審査

事務局より社会福祉法人秀峰会の前期実績報告書について説明し、委員ごとに審査を実施。

4 指定管理者の候補者の選定、講評

応募団体から提出された応募書類及びプレゼンテーション等をもとに評価を行い、各委員の評価結果を集計。各委員の評価点及び理由等の相互確認による協議を実施。

	応募団体	評価得点／満点※	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人秀峰会	2,236／2,940 点	1,994／1,512 点
次点候補者	エフィラグループ 株式会社	1,887／2,730 点	1,797／1,512 点

指定候補者及び次点候補者の得点は、いずれも最低制限基準を満たしているため、選定委員会として社会福祉法人秀峰会を指定候補者、エフィラグループ株式会社を次点候補者として選定することを決定する。

※前期の指定管理者には実績点が含まれるため、満点が異なる。

(審査講評・意見等)

(1) 社会福祉法人秀峰会について

- ・立地条件を踏まえた来館促進と、アウトリーチの一層の充実が必要である。
- ・他の応募団体と比較して、地域特性への理解は一定程度評価できる。
- ・事業提案はやや抽象的であったが、財務面の安定性は評価できる。
子どもに関する取組について、より具体的な記載があるとよかった。
- ・アウトリーチの考え方について評価できる一方、チャレンジ性や、地域資源の新たな発掘、青年層等への対応はやや弱い印象を受けた。
- ・今後、地域をどのように活用していくか期待している。団体がこれまで取り組んできた内容については、分かりやすく説明されていた。
- ・特に期待する点として、以下の点が挙げられる。
 - ① 相談を必要とする人のもとへ出向く機能のさらなる強化
 - ② 人材確保へむけた継続的な取組
 - ③ 青少年の居場所づくりや、貧困家庭への支援につながる取組の検討
- ・通勤・通学等により本地区区を利用する外国人も増えていることから、外国人利用者への対応が求められる。出張相談等だけでなく、地域ケアプラザに来館いただき、施設を利用していただくことにつなげる方法について、より踏み込んだ検討が必要。
- ・地区ごとの高齢化率の違いを、応募団体としてどのように捉え、取組に反映

	<p>させていくかが課題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後重要性が高まる高齢者への ICT 支援についても、積極的な取組が期待される。 <p>(2) エフィラグループ株式会社について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に根差した地区センター・地域ケアプラザとしての運営となるよう工夫が求められる。 ・提案内容は積極的で興味深く、今後の展開に期待が持てる反面、都田地区特有の課題や住民の困りごとの把握、事業内容の具体性には課題が見られた。 ・多様な取組が想定され、全体として着眼点の新しい提案であった。指定管理業務以外でも自主事業を展開できる制度となったので、株式会社の考え方は良いと思った。ただ、具体的な手法は今後深めていく段階であると感じられた。 ・「地域共生社会のプラットフォームを創出する」という方向性は、今後の公的施設の在り方として評価でき、先駆的・挑戦的な提案である。複合施設という特性を生かした点も評価でき、モデルケースとなる可能性を感じた。 ・財務面では一部気になる点があったが、自主事業の内容は魅力的であり、特に子どもや子育て世代の集客を意識した提案が評価された。指定候補者となる事業者には、そのような視点を取り入れてほしい。 ・事業継続性や人材・財務面には不透明な部分があり、具体化が今後の課題である。 ・訪問看護ステーションなど医療との連携を意識した考え方は、地域の力になりうるため、指定候補者となる事業者に取り入れてほしい視点である。 ・現在の立地条件を踏まえ、都田地区の実情をどう把握し、集客につなげていくかが今後の重要な課題である。 ・今後重要となる、高齢者への ICT 支援についても積極的な取組が期待される。
<p>資 料 ・ 特 記 事 項</p>	<p>1 資料</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 次第 (2) 「採点の流れについて」(資料1) (3) 財務分析結果報告書(資料2) (4) 応募関係書類 (5) 前期の指定管理業務の実績 (6) 採点表 <p>2 特記事項</p> <p>特になし</p>